



遊休農地の発生防止・抑制への推進

都市的地域

みどり おおくさ水土里の会（愛知県小牧市） こまきし

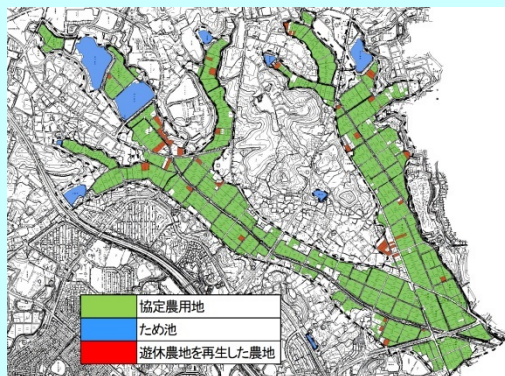
- 愛知県北西部の混住化が進む都市的地域の水田地帯。点在する遊休農地から隣接農地への雑草拡散等により、営農者の生産意欲が低下し、遊休農地の増加が深刻化。
- 遊休農地の解消・防止のため、平成19年度から遊休農地の発生状況把握や草刈り等を実施し、現在は、平成19年度に3.7haあった遊休農地はすべて解消した。
- 近隣の営農者に遊休農地の耕作を働きかけ、これらの農地では、平成26年度は水稻9トン、野菜(芋類含む)44トンが生産された。(試算生産額 10,831千円。)
- 本活動への参加者の半数近くは非農業者が占め、地域で環境保全に取り組む意識も向上。

【地区概要】

- ・取組面積 94ha (田85ha、畑9ha)
- ・資源量
開水路4.2km、パイプライン 17.3km、
農道 21.0km、ため池9箇所
- ・主な構成員
自治会、農業者、子供会、婦人会
- ・交付金 約4百万円(H29)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同) 〕

活動開始前の状況や課題

- 混住化が進む都市的地域の水田地帯であり、遊休農地が点在して発生。
- 遊休農地に繁茂した雑草がスズメの営巣地となり、水稻の食害が発生。また、雑草種子が飛散し、隣接農地にも繁茂。
- これらにより、地域の営農者の生産意欲が低下し、遊休農地の増加が深刻化。



取組内容

- 平成19年度から遊休農地の発生状況の把握、解消の取組を開始。
- 遊休農地の解消・保全管理のため、発生場所の現地調査や土地所有者の情報収集、草刈等を実施。
- 遊休農地の活用のため、近隣の営農者に、耕作を行うよう働きかけ。



遊休農地の草刈

解消された遊休農地



取組の効果

【遊休農地の解消面積】

平成19年度:3.7ha ⇒平成24年度以降:0ha



【遊休農地の活用状況】

- ・作付面積 (平成26年度)
水田1.9ha、畑1.6ha、樹園地0.2ha
- ・生産量・試算生産額 (平成26年度)
水稻9トン(2,103千円)
野菜(芋類含む)44トン(8,728千円)
※愛知県の平均的な流通価格より算出

【遊休農地発生防止の活動状況】

- ・参加者数 (平成26年度)
48人(農業者27人、非農業者21人)
- ・活動は、非農業者が半数近くを占め、地域で環境保全に取り組む意識が向上。



営農が再開された水田